

## (社) 日本経営工学会関西支部の「経営工学の見える化」活動計画(案)

全国的な大学再編の結果、「経営工学科」の名称がなくなり、大学の外からは経営工学に関する教育・研究の実態が見えない状況になっている。経営工学を学びたいと考える受験生に対して、また、経営工学の知識と技術を持った人材を採用したいと考えている企業に対して、積極的にアピールしていく必要があると思われる。

(社) 日本経営工学会の本部では経営工学読本の発行を企画するなどの取組が行われているが、関西支部でも積極的に「経営工学の見える化」活動を計画し、実行していく必要があると考える。その計画案を提案する。

### 1. 大学における経営工学に関連した教育・研究の見える化

- ・経営工学の領域で教育・研究している関西の大学を関西支部ホームページで紹介する。  
そのため、関西支部に所属し、大学に所属している正会員に対して「大学・学部・学科/大学院・研究科・専攻・分野の名称、研究室名、代表者名、連絡先またはホームページ URL」を調査し、関西支部ホームページへの掲載の承諾を得、関西支部事務局がホームページに掲載する。  
メールアドレスは「ng@eis.osakafu-u.ac.jp」の場合、  
「e-mail: ng@ (@の後は eis.osakafu-u.ac.jp)」として、迷惑メール対策をとる。  
ホームページには、受験生からの問い合わせの可否、企業からの共同研究や技術相談などの可否、学生からのインターンシップ仲介の可否などを掲載する。

### 2. 経営工学に関連したインターンシップ実施企業の紹介

- ・経営工学の職種に関連したインターンシップを実施している企業を関西支部ホームページで紹介する。  
そのため、関西支部に所属し、企業に所属している正会員や賛助会員に対して「企業名、実施しているインターンシップの名称と内容、担当者名、連絡先またはホームページ URL」を調査し、関西支部ホームページへの掲載の承諾を得る。1の登録者は、所属大学学科・専攻の学生・大学院生を登録した企業へインターンシップ生として派遣できる。登録企業には、1の登録者からのインターンシップの依頼に対してはできるだけ応じて頂くよう依頼する。関西支部事務局がホームページに掲載する。

### 3. 経営工学に関連した企業人の大学への講師派遣

- ・経営工学に関連した職種に就いた経験のある企業人を1の登録大学へ講師として派遣し、経営工学を学ぼうとする学生の意欲を高める。そのため、1の登録者に講師派遣制度を案内し、産業界関係の関西支部運営委員またはその推薦者を講師として派遣する。講師派遣は年間5件までとし、運営委員会で承認の上、講師の交通費(実費)および謝礼(2万円)を関西支部予算で負担する。講師派遣制度を利用する1の登録者は、運営委員会の1週間以上前に講師派遣依頼を関西支部事務局へ提出し、運営委員会が派遣する講師を選定する。講師派遣制度を利用した1の登録者は、実施後、講師派遣報告(大学名・日時・講演題目・講師名・大学での担当者名・参加者数・400字程度の概要)を関西支部事務局へ提出し、事務局はそれをホームページに掲載して紹介する。

### 4. 経営工学実践賞の受賞候補者の発掘

- ・経営工学実践賞は「経営工学実践賞の対象となる業績は、原則として本会が主催する春秋の大会において

事例発表あるいは研究発表として発表された実践事例ならびに関連業績」(特別賞細則第3条第2項)に対して送られ、「表彰委員の他、理事および支部長」が受賞候補者を推薦できる。関西支部からはまだ受賞者が出ていないため、関西支部所属の賛助会員や産業界関係の正会員に積極的に働きかけ、受賞候補者を発掘する。そのため、関西支部運営委員会にプロジェクトチームを組織し、関西支部所属の産業界関係の会員にアンケート調査を実施する。候補者には事例研究会または運営委員会主催の事例発表会で発表して頂き、学会の春季大会または秋季研究大会での事例発表を依頼し、支部長が表彰委員会へ推薦する。運営委員会主催の事例発表会の場合には、交通費(実費)と謝礼(3万円)を関西支部予算で負担する。

## **5. 「関西支部学生会員の会」の結成とメーリングリスト・自主ゼミ・工場見学・講演会などの活動への支援**

- ・ 関西支部学生会員の会を結成し、自主的な活動を支援する。そのため、関西支部学生会員のメーリングリストを立ち上げ、学生会員間の交流を促す。自主的な研究会活動・工場見学・講演会・親睦会に対して講師派遣や講師交通費・謝礼・会場費負担などの支援を行う。関西支部事務局を通して関西支部運営委員会に企画を提案させ、年間5万円を限度として承認し、人的・財政的支援を行う。

以上